# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上 場 会 社 名 | セーラー広告株式会社 | 上場取引所 | 東 |
| コ ー ド 番 号 | 2156 | URL | https://www.saylor.co.jp/ |
| 代　　表　　者 | （役職名） 代表取締役社長 | （氏名） | 香川　裕史 |
| 問合せ先責任者 | （役職名） 執行役員総務局長 | （氏名） | 西分　太郎　(TEL) 087-825-1156 |
| 半期報告書提出予定日 | 2026年11月12日 | 配当支払開始予定日 | ― |

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 総売上高 | | 収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 3,509 | 4.4 | 986 | 10.2 | △119 | ― | △73 | ― | △60 | ― |
| 2026年３月期中間期 | 3,360 | 2.7 | 895 | 5.5 | △133 | ― | △118 | ― | △98 | ― |

(注) 包括利益　2027年３月期中間期　△11百万円(　―%)　2026年３月期中間期　△62百万円(　―%)

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | △11.74 | ― |
| 2026年３月期中間期 | △21.92 | ― |

※総売上高は、当社グループの営業活動によって得た販売額の総額であります。『収益認識に関する会計基準』に準拠した指標ではありませんが、投資者が当社グループの事業規模を判断するうえで重要な指標であると認識し、従前の企業会計原則に基づき算出し、参考情報として開示しております。

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 4,157 | 2,263 | 54.4 |
| 2026年３月期 | 4,315 | 2,305 | 53.4 |

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　2,263百万円　2026年３月期　2,305百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 0.00 | ― | 6.00 | 6.00 |
| 2027年３月期 | ― | 0.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | ― | 6.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 総売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 8,200 | 4.3 | 180 | ― | 200 | ― |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

会計方針の変更に関する注記

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 6,078,000株 | 2026年３月期 | 6,078,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 937,828株 | 2026年３月期 | 930,928株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 5,140,172株 | 2026年３月期中間期 | 4,513,170株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

## １．当中間決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化する物価高や金利動向が個人消費に与える影響に加え、海外情勢の不確実性も相まって、先行きについては依然として不透明な状況となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、次世代デジタル技術を活用したマーケティングデザイン企業を目指し、地域に密着した広告会社としての強みを活かしながら、データやAIなどを活用したコンサルティング型ソリューションの拡充と、人材・組織の強化に取り組んでまいりました。

広告事業におきましては、AIツールの導入により提案活動の効率化を図るとともに、インターネット広告やホームページの改修に加え、来店促進プロモーションに関する広告出稿など、デジタル領域の受注が堅調に推移いたしました。また、空間プロデュース案件として地元企業の研究開発施設や福利厚生施設の竣工に携わったほか、スポーツマーケティング事業におけるメディア出稿の収益計上や行政関係のプロポーザル案件の獲得による収益基盤づくりのほか、今秋に開催される大型イベントや来年愛媛県で開催予定の自転車に関する国際会議の準備などに注力してまいりました。加えて、地方における持続可能な社会の実現と新たな価値創造に向け、ジオテクノロジーズ株式会社と業務提携契約を締結し、地域に「ゆかり（滞在・移動履歴）」のある人々にピンポイントで広告配信ができる新サービス『ゆかりコネクト』を共同開発いたしました。リテール事業におきましては、『徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～』の集客ならびに店舗売上が堅調に推移したほか、四国の地域産品の販路拡大や、地元企業のオリジナル商品の開発に向けた取り組みを推進いたしました。また、ソフト開発事業におきましても、クラウド斎場予約システムや音声自動応答システムなどのソフト開発が堅調に推移いたしました。

以上の取り組みの結果、当社グループの総売上高は3,509百万円（前年同期比104.4%）となり、前年同期を上回る実績となりました。

利益面につきましては、利益率向上を意識した営業活動を徹底した結果、収益および売上総利益が前年を上回り、収益は986百万円（前年同期比110.2%）、売上総利益は755百万円（前年同期比108.5%）となり、売上総利益率も改善して21.5%（前年同期比0.8ポイントの改善）となりました。また、営業強化研修に関する費用やコーポレートサイト改修に伴う費用の計上に加え、昨年10月から新たに連結対象となった株式会社フェローの経費を当期においては期首から加算したこともあって、販売費及び一般管理費が874百万円（前年同期比105.4%）となり、営業損失は119百万円（前年同期は133百万円の営業損失）となりました。このほか、営業外収益として、前期に取り組んだ四国の地域産品の販路拡大に関する事業の助成金（小規模事業者持続化補助金）収入33百万円を計上したことにより、経常損失は73百万円（前年同期は118百万円の経常損失）および親会社株主に帰属する中間純損失は60百万円（前年同期は98百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となり、利益面につきましても前年同期を上回る実績となりました。

※ 総売上高は、当社グループの営業活動によって得た販売額の総額であります。『収益認識に関する会計基準』に準拠した指標ではありませんが、投資者が当社グループの事業規模を判断するうえで重要な指標であると認識し、従前の企業会計原則に基づき算出し、参考情報として開示しております。
※ 収益は『収益認識に関する会計基準』に準拠し算出した収益の総額であります。
※ 売上総利益率＝売上総利益／総売上高

### （２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は4,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円の減少となりました。

資産の部では、現金及び預金の増加と受取手形及び売掛金の減少を主な要因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ198百万円減少し、2,006百万円となりました。また、投資有価証券の増加を主な要因として、固定資産は前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、2,150百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金の減少のほか、短期借入金の増加を主な要因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、1,283百万円となりました。また、長期借入金の返済を主な要因として、固定負債は前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、609百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、2,263百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失の計上と期末配当金の支払いによるものであります。

### （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日に公表いたしました数値から変更はなく、グループ全体で、総売上高8,200百万円、営業利益180百万円、経常利益200百万円を予想しております。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 708,508 | 868,769 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,325,880 | 737,043 |
| 電子記録債権 | 10,396 | 101,003 |
| 商品 | 18,360 | 19,370 |
| 仕掛品 | 42,915 | 144,448 |
| 貯蔵品 | 3,612 | 3,315 |
| 未収還付法人税等 | 4,622 | ― |
| その他 | 96,103 | 135,164 |
| 貸倒引当金 | △5,589 | △2,810 |
| 流動資産合計 | 2,204,810 | 2,006,304 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 610,040 | 610,040 |
| その他(純額) | 231,277 | 219,179 |
| 有形固定資産合計 | 841,318 | 829,220 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 24,247 | 20,919 |
| その他 | 23,912 | 21,672 |
| 無形固定資産合計 | 48,160 | 42,591 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資不動産（純額） | 601,369 | 595,708 |
| その他 | 629,681 | 692,535 |
| 貸倒引当金 | △9,612 | △9,144 |
| 投資その他の資産合計 | 1,221,437 | 1,279,099 |
| 固定資産合計 | 2,110,916 | 2,150,911 |
| 資産合計 | 4,315,726 | 4,157,215 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 935,093 | 627,425 |
| 電子記録債務 | 34,139 | 57,059 |
| 短期借入金 | 60,000 | 270,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 35,597 | 30,599 |
| 未払法人税等 | 10,058 | 10,595 |
| 賞与引当金 | 67,288 | 56,858 |
| その他 | 245,068 | 231,319 |
| 流動負債合計 | 1,387,245 | 1,283,857 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 200,000 | 200,000 |
| 長期借入金 | 161,610 | 147,570 |
| 退職給付に係る負債 | 170,856 | 172,848 |
| 役員退職慰労引当金 | 9,362 | 9,737 |
| その他 | 81,164 | 79,821 |
| 固定負債合計 | 622,992 | 609,978 |
| 負債合計 | 2,010,238 | 1,893,835 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 294,868 | 294,868 |
| 資本剰余金 | 444,212 | 444,212 |
| 利益剰余金 | 1,560,757 | 1,469,485 |
| 自己株式 | △124,972 | △124,972 |
| 株主資本合計 | 2,174,866 | 2,083,594 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 130,997 | 179,905 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △375 | △119 |
| その他の包括利益累計額合計 | 130,622 | 179,785 |
| 純資産合計 | 2,305,488 | 2,263,379 |
| 負債純資産合計 | 4,315,726 | 4,157,215 |

## （２）中間連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 総売上高 | 3,360,261 | 3,509,204 |
| 収益 | 895,434 | 986,563 |
| 売上原価 | 198,895 | 230,702 |
| 売上総利益 | 696,538 | 755,860 |
| 販売費及び一般管理費 | 829,949 | 874,861 |
| 営業損失（△） | △133,410 | △119,001 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 382 | 659 |
| 受取配当金 | 2,975 | 3,679 |
| 投資不動産賃貸料 | 21,259 | 21,408 |
| 助成金収入 | 4,935 | 33,884 |
| その他 | 9,897 | 3,153 |
| 営業外収益合計 | 39,451 | 62,785 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,961 | 3,205 |
| 不動産賃貸費用 | 13,614 | 11,724 |
| 株式報酬費用消滅損 | 3,000 | 1,724 |
| 支払手数料 | 5,653 | — |
| その他 | 442 | 439 |
| 営業外費用合計 | 24,673 | 17,093 |
| 経常損失（△） | △118,631 | △73,309 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 253 | 433 |
| 特別利益合計 | 253 | 433 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 914 | — |
| 特別損失合計 | 914 | — |
| 税金等調整前中間純損失（△） | △119,293 | △72,875 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,983 | 6,110 |
| 法人税等調整額 | △22,320 | △18,596 |
| 法人税等合計 | △20,336 | △12,486 |
| 中間純損失（△） | △98,956 | △60,389 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に帰属する中間純損失（△） | △98,956 | △60,389 |
| 非支配株主に帰属する中間純損失（△） | — | — |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 36,278 | 48,907 |
| 退職給付に係る調整額 | 403 | 255 |
| その他の包括利益合計 | 36,682 | 49,163 |
| 中間包括利益 | △62,273 | △11,226 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | △62,273 | △11,226 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | — | — |

## （３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自 2025年４月１日<br>至 2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自 2026年４月１日<br>至 2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純損失（△） | △119,293 | △72,875 |
| 減価償却費 | 15,630 | 14,818 |
| のれん償却額 | 2,854 | 3,328 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △1,893 | △3,247 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △7,380 | △10,430 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | △530 | 2,364 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 337 | 375 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,358 | △4,338 |
| 賃貸料の受取額 | △21,259 | △21,408 |
| 投資不動産賃貸費用 | 13,614 | 11,724 |
| 有形固定資産除却損 | 914 | － |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △253 | △433 |
| 支払利息 | 1,961 | 3,205 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 494,208 | 498,753 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △164,250 | △102,246 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | △44,523 | △16,542 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △265,014 | △284,748 |
| その他 | △14,676 | 2,532 |
| 小計 | △112,911 | 20,830 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,337 | 4,344 |
| 利息の支払額 | △2,034 | △3,242 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △28,270 | △679 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △139,879 | 21,253 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △53,000 | △34,012 |
| 定期預金の払戻による収入 | 42,001 | 34,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8,820 | △548 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △32,569 | △3,493 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 487 | 916 |
| 保険積立金の積立による支出 | △1,118 | △1,180 |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 21,136 | 21,408 |
| その他 | △19,052 | △36,189 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △50,934 | △19,099 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 116,000 | 210,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △19,038 | △19,038 |
| 自己株式の処分による収入 | 188,460 | － |
| 配当金の支払額 | △26,471 | △30,882 |
| その他 | △1,793 | △1,984 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 257,156 | 158,095 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 66,342 | 160,248 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 677,811 | 613,193 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 744,154 | 773,442 |

## （４）中間連結財務諸表に関する注記事項

### （継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

### （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

### （会計方針の変更）

「期中財務諸表に関する会計基準」等の適用）

期中財務諸表に関する会計基準（企業会計基準第37号　2025年10月16日。以下「期中会計基準」という。）及び「期中財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第34号　2025年10月16日。以下「期中適用指針」という。）を当第２四半期連結会計期間の期首から適用し、有価証券の減損処理に係る方法を期中切放し法から期中洗替え法に変更しております。

なお、期中会計基準第35項及び期中適用指針第73項に定める経過的な取扱いに従い、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

## （セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 中間連結損益及び包括利益計算書計上額（注） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 広告事業 | リテール事業 | ソフト開発事業 | 合計 | | |
| 収益 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 869,711 | 25,722 | ― | 895,434 | ― | 895,434 |
| 外部顧客への収益 | 869,711 | 25,722 | ― | 895,434 | ― | 895,434 |
| セグメント間の内部収益又は振替高 | ― | ― | ― | ― | ― | ― |
| 計 | 869,711 | 25,722 | ― | 895,434 | ― | 895,434 |
| セグメント損失(△) | △128,158 | △5,251 | ― | △133,410 | ― | △133,410 |

（注）　セグメント損失は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 中間連結損益及び包括利益計算書計上額（注） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 広告事業 | リテール事業 | ソフト開発事業 | 合計 | | |
| 収益 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 885,080 | 30,771 | 70,711 | 986,563 | ― | 986,563 |
| 外部顧客への収益 | 885,080 | 30,771 | 70,711 | 986,563 | ― | 986,563 |
| セグメント間の内部収益又は振替高 | ― | ― | ― | ― | ― | ― |
| 計 | 885,080 | 30,771 | 70,711 | 986,563 | ― | 986,563 |
| セグメント損失(△) | △108,586 | △4,048 | △6,605 | △119,241 | 240 | △119,001 |

（注）　セグメント損失は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。